

第32回景況調査結果

令和2年7月

大曲商工会議所中小企業相談所

1. 目的

大曲商工会議所地域内の商工業者の景況を把握し公表することにより、商工業者の事業推進に寄与するため実施した。

2. 景況判断指数（Diffusion Index 値）とは

景況判断指数はD I 値と表示され、求め方は、増加や好転と回答した事業所の割合から減少や悪化と回答した事業所の割合を差し引いた値で、プラスの時は好景気（景気拡大期）、マイナスの時は不景気（景気減速期）と判断される。

（計算例）

好転5社 変わらず3社 悪化2社 のD I 値は30ポイント

D I 値＝好転の割合（5社÷10社＝50％）－悪化の割合（2社÷10社＝20％）

D I 値＝50％－20％＝30（ポイント）

3. 調査対象期間

●前期の実績

前期（令和2年4月1日～令和2年6月30日）についての実績を
前年同期と比較（平成31年4月1日～令和1年6月30日）

●今期の見通し

今期（令和2年7月1日～令和2年9月30日）についての見通しを
前年同期と比較（令和1年7月1日～令和1年9月30日）

4. 回収状況

| 業種 | 対 象 事業所数 | 有 効 回 答 事業所数 (回収率) |
|-------|-------------|-----------------------|
| 建設業 | 32 | 24 (75%) |
| 製造業 | 22 | 17 (77%) |
| 卸売業 | 6 | 4 (66%) |
| 小売業 | 80 | 59 (73%) |
| サービス業 | 60 | 37 (61%) |
| 合計 | 200 | 141 (70%) |

調査結果

()内は前回調査1月調査結果のDI値

①全業種

(単位: ポイント)

| 期間 | 景況 | 売上 | 在庫 | 利益 | 資金繰り | 雇用 |
|------------------|------------------|------------------|----------------|------------------|------------------|----------------|
| 前期の実績 (前回調査) | △57.4 (△57.7) | △62.9 (△59.6) | △6.5 (△6.5) | △61.0 (△57.7) | △40.7 (△40.8) | 1.4 (△2.2) |
| 今期の見通し (前回調査) | △54.6 (△68.1) | △55.7 (△70.2) | △7.8 (2.6) | △56.0 (△71.4) | △40.7 (△50.4) | 0.7 (△12.5) |

業種別

| 業種 | 期間 | 景況 | 売上 | 在庫 | 利益 | 資金繰り | 雇用 |
|-------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 建設業 | 前期の実績 (前回調査) | △45.8 (△34.6) | △54.2 (△38.5) | — | △58.3 (△42.3) | △33.3 (△15.4) | 25.0 (11.5) |
| | 今期の見通し (前回調査) | △45.8 (△34.6) | △45.8 (△30.8) | — | △50.0 (△50.0) | △33.3 (△15.4) | 33.3 (19.2) |
| 製造業 | 前期の実績 (前回調査) | △88.2 (△64.7) | △82.4 (△58.8) | △66.7 (△37.5) | △94.1 (△52.9) | △64.7 (△47.1) | △35.3 (△6.3) |
| | 今期の見通し (前回調査) | △76.5 (△82.4) | △82.4 (△88.2) | △46.7 (△37.5) | △70.6 (△70.6) | △64.7 (△64.7) | △41.2 (△37.5) |
| 卸売業 | 前期の実績 (前回調査) | 25.0 (△50.0) | △50.0 (△50.0) | 25.0 (0.0) | 0.0 (△50.0) | 0.0 (0.0) | 0.0 (25.0) |
| | 今期の見通し (前回調査) | △50.0 (△50.0) | △50.0 (△50.0) | 25.0 (0.0) | △50.0 (△50.0) | △25.0 (△50.0) | 0.0 (△25.0) |
| 小売業 | 前期の実績 (前回調査) | △59.3 (△69.6) | △64.4 (△72.7) | 7.0 (1.9) | △55.9 (△69.6) | △34.5 (△48.2) | 5.4 (△1.9) |
| | 今期の見通し (前回調査) | △59.3 (△82.1) | △61.0 (△85.7) | 0.0 (12.7) | △61.0 (△82.1) | △36.2 (△57.1) | 0.0 (△14.8) |
| サービス業 | 前期の実績 (前回調査) | △56.8 (△53.8) | △58.3 (△56.4) | — | △62.2 (△53.8) | △48.6 (△48.7) | △2.7 (△13.9) |
| | 今期の見通し (前回調査) | △43.2 (△65.8) | △41.7 (△68.4) | — | △45.9 (△73.0) | △43.2 (△57.9) | 0.0 (△19.4) |

(3) 自由表記

【建設業】

- ・土木部門堅調も今後も引き続き建設部門の受注減少が予想される。
(総合建設業)
- ・コロナ禍の影響で民間投資、需要が減少している。年度末に向けて更に差し控えが強まれば売上減少に拍車をかけるであろう。
(総合建設業)

【小売業】

- ・今後の見通しは良い状態ではないと推測しております。
(一般小売)
- ・コロナウイルス次第です。
(酒類小売)
- ・夏季イベント中止によりオケージョン需要が見込めず厳しい状況。
(衣料小売)
- ・慢性的な減販に加え、感染症の影響で減販に拍車がかかっている。
打開策を模索しているが、見出せない。
(燃料小売)

【サービス業】

- ・夏場は客単価は上がるが、来客数の減少でどうなるか。
観光客も今年は少ないだろうし、帰省客も少ないだろう。
(飲食店)
- ・見通しがつかず、先が真っ暗です。
(宿泊業)

【製造業】

- ・4月～5月は前年比50%以上の減少。6月に入り前年比10%減へ回復。
今後は前年並みと見込んでいる。
(製造業)
- ・受注が少なくなり、ますます大変な状況になっている。
(製造業)

(4) 考 察

全国比較：日本商工会議所 LOBO 調査

県内比較：秋田県県内経済動向調査

参考比較：大曲商工会議所新型コロナウイルス事業影響調査

建設業

前回調査と比べると前期実績・今期見通しの雇用以外の項目が下回っており、雇用以外の全ての項目がマイナスの結果となった。

全国調査では 6 月に入り新型コロナウイルスの影響に伴う建築資材などの納品遅れ・欠品が解消されつつあり、県内経済動向調査によると公共投資は 6 月時点で 5 か月連続で前年同月を上回っているとあるが、当所調査では売上 D I の前期実績 $\Delta 54.2$ 、今期見通し $\Delta 45.8$ と依然として厳しい結果となった。新型コロナウイルスの影響により中断していた公共工事の再開や消費者マインド低迷で不調な住宅関連工事の動向を引き続き注視していく。新型コロナウイルス感染拡大の長期化により景況感はさらに悪化する可能性がある。

製造業

前回調査と比べると景況 D I 値が前期実績 $\Delta 88.2$ 、今期見通し $\Delta 76.5$ であり、前期実績・今期見通しの全ての項目が引き続き厳しい状況である。自動車関連の一部工場再開や中国向け輸出の持ち直しに期待する声もあるが、全国調査及び当所調査でも金属製品などは取引先における過剰在庫や生産調整による受注減との声が多く聞かれた。業況の回復にはしばらく時間がかかりそうである。

卸売業

前回調査と比べると景況 D I 値が前期実績 25% と改善した。緊急事態宣言の解除に伴い飲食店の再開で食品関連卸売業の回復が影響している。しかし今期見通し $\Delta 50.0$ と完全な回復にはまだ時間がかかりそうである。

小売業

前回調査と比べると前期実績・今期見通しとも低調ではあるが、数値は改善されている。全国調査および県内調査と同様に、食料品、生活用品は好調を維持しており、特別低額給付金の効果で家電の売上が伸びている。一方、進学・入学などの新生活に合わせた需要は激減している。今後も新型コロナウイルス感染が拡大するようであれば、かなり深刻な状況になると考えられる。

サービス業

前期実績・今期見通しともに厳しい状況が続いている。緊急事態宣言の解除以降、営業再開をした飲食業ではあるが、遠出や外出を自粛している消費者も一定するおり回復には時間がかかると思われる。また、観光・ビジネス需要は依然として低迷が続いており宿泊上には厳しい状況が続いている。持続化給付金、雇用調整助成金などの助成金で経営・雇用を維持しているが、今後もコロナウイルスの影響が収束しなければ、より深刻な状況になると考えられる。

・全業種の景況は、前回調査と同様に新型コロナウイルスの影響が続いており、がっており、小売業・サービス業・製造業の落ち込みが激しい。卸売業・建設業も先行きは不透明である。新型コロナウイルスによる落ち込みはしばらく続くと思われる。